平成26年木材需給表 正誤表

	平成26年木材需給表 正誤表
正	誤
平 成 26 年	平 成 26 年
木材需給	表 木 材 需 給 表
平 成 2 <u>8</u> 年 <u>4</u> 月	平成27年0日
1 /2 = 0 1 - 1 /2 /1	平 成 2 <u>7</u> 年 <u>9</u> 月
林野庁企画課	林 野 庁 企 画 課

正

誤

(2) 丸太換算率

本表における木材需要・供給量は丸太換算材積であり、丸太以外の形態で輸入又は輸出されたものについては、以下の換算率を用いて丸太材積に換算した。

木材	製	品 名	単位	丸太換算率		木 材	製品	品 名	単位	丸太換算率
製材	品	針 葉 樹	m³	63.7%	7	改	良	木 材	m³	100.0%
聚 村	pp	広葉樹	m³	54.8%	ての	再	生	木 材	m³	100.0%
木 材	パ	ルプ	t.	1 t = 3, 3 m ³	他	集	成	材	m³	60.0%
A 10	/\ /\	<i>N S</i>	ı	1 t - 3. 3 III	木	構造	用	集成材	m³	60.0%
木材チッ	針葉樹		t	$1 t = 2.2 m^3$	材	セルラー	ウッ	1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、	m²	$100 \text{ m}^2 = 7.92 \text{ m}^3$
NM 1 9		広葉樹	t	$1 t = 1.7 m^3$	製	加工材		針葉樹	m³	60.0%
	台	板	m³	61.8%	品	/JII	121	広葉樹	m³	50.0%
合 板 等	漢	板・単板	m³	61.8%		枕		木	m³	50.0%
L W 4	7	゜ロックホ゜ート゜					木	炭	t	$1\ t=7.407\ m^3$
		等	m³	40.9%		燃料材		薪	t	1 t = 1.282 m ³

2 木材需給の概要

(1) 木材需要

(ア) 用材

平成 26 年における用材の総需要量は 7, 254 万 7 千㎡で、前年に比べて 132 万㎡ (対前年増減率(以下同じ。) \triangle 1.8%) 減少した。この内訳をみると、製材用材が 245 万 3 千㎡ (\triangle 8.6%)、合板用材が 8万 8 千㎡ (\triangle 0.8%) の減少となり、パルプ・チップ用材が 108 万㎡ (3.6%) の増加となった。また、輸出量は 201 万㎡で、前年に比べて 10 万 9 千㎡ (5.7%) 増加した。

(イ) しいたけ原木及び燃料材(※1)

平成 26 年におけるしいたけ原木の総需要量は 3<u>1</u>万 <u>3</u> 千 $^{\rm m}$ で、前年に比べて <u>7</u>万 <u>5</u> 千 $^{\rm m}$ (\triangle 19, 3%) 減少した。一方、燃料材の総需要量は 294 万 $^{\rm m}$ であった。

(ウ)総数

平成 26 年における総需要量は 7,579 万 9 千㎡となった。

燃料用チップを除く平成 26 年の総需要量は 7,410 万 3 千㎡で、前年に比べ 135 万 6 千㎡ (△ 1.8%) 減少した。(※ 2)

- (※1) 平成26年から、木質パイオマス発電施設等において利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。
- (※2) 燃料用チップを新たに計上したため、前年からの増減の算出に当たっては、燃料用チップを除いた値を用いた。

(2) 丸太換算率

本表における木材需要・供給量は丸太換算材積であり、丸太以外の形態で輸入又は輸出されたものについては、以下の換算率を用いて丸太材積に換算した。

木材	製	品 名	単位	丸太換算率		木 材	製	品 名	単位	丸太換算率
製材	品	針葉樹	m³	63.7%	平	改	良	木 材	m³	100.0%
製 10	ĎΠ	広葉樹	m³	54.8%	ての	再	生	木 材	m³	100.0%
木 材	パ	ルプ	t.	1 t = 3, 3 m ³	他	集	成	材	m³	60.0%
A 10	/\ /\ /\ /		L L	1 t - 3. 3 m	木	構造用集成材		集成材	m³	60.0%
木材チッ	針葉樹		t	$1 t = 2.2 m^3$	材	セルラーウット゜ハ゜ネル		m²	100 m 2 =7.92 m 3	
N-101 7 9		広葉樹	t	1 t = 1.7 m ³	製	加工	++	針葉樹	m³	60.0%
	숨	板	m³	61.8%	品品	<i>/</i> ///	111	広葉樹	m³	50.0%
合 板 等	漢	板・単板	m³	61.8%		枕		木	m³	50.0%
口似于	プロックポート゚ 等				·		木	炭	t	$1\ t=7.407\ m^3$
			m³	40.9%	燃	料材		薪	t	$1\ t=1.282\ m^3$

2 木材需給の概要

(1) 木材需要

(ア) 用材

平成 26 年における用材の総需要量は 7, 254 万 $\frac{3}{2}$ 千㎡ で、前年に比べて 132 万 $\frac{4}{1}$ 千㎡ (対前年増減率 (以下同じ。) \triangle 1. 8%) 減少した。この内訳をみると、製材用材が 245 万 $\frac{3}{2}$ 千㎡ (\triangle 8. 6%) 、合板用材が 8 万 $\frac{3}{2}$ 千㎡ (\triangle 0. 8%) の減少となり、パルプ・チップ用材が $\frac{3}{2}$ 7 千㎡ ($\frac{3}{2}$ 5%) の増加となった。また、輸出量は 201 万㎡ で、前年に比べて $\frac{3}{2}$ 7 千㎡ ($\frac{3}{2}$ 5%) 増加した。

(イ) しいたけ原木及び燃料材(※1)

平成 26 年におけるしいたけ原木の総需要量は33 万㎡で、前年に比べて $\frac{5}{2}$ 万8千㎡ (\triangle 14.9%)減少した。一方、燃料材の総需要量は294 万㎡であった。

(ウ)総数

平成 26 年における総需要量は 7,581 万 4 千㎡となった。

燃料用チップを除く平成 26 年の総需要量は 7,41<u>1</u>万 <u>8</u>千㎡で、前年に比べ 13<u>4</u>万 <u>7</u>千㎡ (\triangle 1.8%) 減少した。(※ 2)

- (※1) 平成26年から、木質バイオマス発電施設等において利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。
- (※2) 燃料用チップを新たに計上したため、前年からの増減の算出に当たっては、燃料用チップを除いた値を用いた。

平成26年木材需給表 正誤表

正

木材需要の動向

			/\ 1/1	一 女	(7) 野	IH)		
			平成2	26年	平成 2	25年	対前年	対前年
		区 分	数量	構成比	数量	構成比	増減量	増減率
			(千m³)	(%)	(千m³)	(%)	(千m³)	(%)
		製材用材	26, 139	34. 5	28, 592	37. 9	△ 2, 453	△ 8.6
	用	パルプ・チップ用材	31, 433	41.5	30, 353	40.2	1,080	<u>3. 6</u>
総		合板用材	11, 144	14.7	11, 232	14.9	△ 88	△ 0.8
需	材	その他用材	3,830	5. 1	3,690	4.9	140	3.8
要		小 計	72,547	95. 7	73,867	97.9	△ 1,320	△ 1.8
量	1	しいたけ原木	<u>313</u>	0.4	388	0.5	△ 75	△ 19.3
	坎	然料材 (※)	2, 940	3. 9	1,204	1.6		
		計	<u>75, 799</u>	100.0	75, 459	100.0		
	計	(燃料用チップ除く)	74, 103	100.0	<u>75, 459</u>	100.0	△ 1,356	△ 1.8
	製材用材		26, 032	35. 3	28, 497	38.7	△ 2, 465	△ 8.7
	用	パルプ・チップ用材	30, 123	40.8	28,860	39. 2	1, 263	4. 4
玉		合 板 用 材	11,087	15.0	11, 191	15. 2	△ 104	△ 0.9
内	材	その他用材	3, 293	4. 5	3,418	4.6	△ 125	△ 3.7
消		小 計	70,536	95. 6	71,966	97.9	<u>△ 1,430</u>	△ 2.0
費	1	しいたけ原木	<u>313</u>	0.4	388	0.5	△ 75	△ 19.3
	火	然料材(※)	2, 921	4. 0	1, 191	1.6		
		計	73,770	100.0	73,544	100.0		
	盐	(燃料用チップ除く)	72,074	100.0	73,544	100.0	<u>△ 1,470</u>	△ 2.0
	用材		2,010	99. 1	1,901	99.3	109	5. 7
輸		うち丸太	521	25. 7	273	14. 3	248	90.8
出	火	然料材 (※)	19	0. 9	13	0.7		
		計	2, 029	100.0	1,914	100.0		
	計	(燃料用チップ除く)	2, 029	100.0	1,914	100.0	115	6. 0

- 注:1) 合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL(単板積層材)を含む。
 - 2) その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
 - 3) 輸出の丸太には、加工材、再生木材等を含む。
 - 4)燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。
 - 5) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。
- (※) 平成26年から、木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。このため、平成25年については「薪炭材」の数量を、平成26年については「燃料材」の数量を記載している。

誤

木 材 需 要 の 動 向

			<u> </u>	帝 安	の動	印		
		区 分	平成 2 数量 (千m³)	26年 構成比 (%)	平成 2 数量 (千m³)	表 5 年 構成比 (%)	対前年 増減量 (千m³)	対前年 増減率 (%)
		製材用材	26, 139	34. 5	28, 592	37. 9	\triangle 2, 453	△ 8.6
	用	パルプ・チップ用材	31,430	41.5	30, 353	40.2	1,077	<u>3.5</u>
総		合 板 用 材	11, 144	14. 7	11, 232	14. 9	△ 88	△ 0.8
需	材	その他用材	3,830	5.1	3,690	4.9	140	3.8
要		小 計	72, 543	95.7	73, 867	97.9	<u>△</u> 1,324	△ 1.8
量	1	しいたけ原木	<u>330</u>	0.4	388	0.5	△ 58	△ 14.9
	隽	然料材(※)	2,940	3.9	1,211	1.6		
	raaaaaa	計	75, 814	100.0	75, 465	100.0		***************************************
	計	(燃料用チップ除く)	74, 118	100.0	<u>75, 465</u>	100.0	△ 1,347	△ 1.8
	製材用材		26, 032	35. 3	28, 497	38. 7	\triangle 2,465	△ 8.7
	用	パルプ・チップ用材	30, 120	40.8	28, 860	39. 2	1,260	4.4
国	6.6	合 板 用 材	11,087	15.0	11, 191	15. 2	△ 104	△ 0.9
内	材	その他用材	3, 293	4.5	3, 418	4.6	△ 125	△ 3.7
消費		小 計	<u>70, 533</u>	95.6	71, 966	97.8	<u>△</u> 1,433	△ 2.0
貝	Ī	しいたけ原木	<u>330</u>	0.4	388	0.5	△ 58	△ 14.9
	隽	然料材(※)	2, 921	4.0	<u>1, 197</u>	1.6		
	*********	計	73, 785	100.0	73, 551	100.0	Managanan	
	計	(燃料用チップ除く)	<u>72, 089</u>	100.0	<u>73, 551</u>	100.0	<u>△</u> 1,462	\triangle 2.0
	,	村 材	2,010	99. 1	1,901	99.3	109	5.7
輸		うち丸太	521	25.7	273	14.3	248	90.8
出	隽	然料材(※)	19	0.9	13	0.7		
		計	2, 029	100.0	1,914	100.0		
	計	(燃料用チップ除く)	2,029	100.0	1,914	100.0	115	6.0

- 注:1)合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL(単板積層材)を含む。
 - 2) その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
 - 3) 輸出の丸太には、加工材、再生木材等を含む。
 - 4) 燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。
 - 5)数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。
- (※) 平成26年から、木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。このため、平成25年については「薪炭材」の数量を、平成26年については「燃料材」の数量を記載している。

正誤

(2) 木材供給

(ア) 用材

平成 26 年における用材の国内生産量は 2, 149 万 $\frac{2}{5}$ 千㎡ で、前年に比べて 37 万 $\frac{5}{5}$ 千㎡ (1.8%) 増加した。この内訳をみると、丸太は 2, 12 $\frac{6}{5}$ 万 $\frac{1}{5}$ 千㎡ (4 万 $\frac{3}{5}$ 千㎡ (2.1%) の増加、林地 残材は 23 万 $\frac{1}{5}$ 千㎡ で 6 万 $\frac{8}{5}$ 千㎡ ($\frac{22}{5}$ 7%) の減少となった。

用材の輸入量は 5,105 万 4 千㎡で、前年に比べて 169 万 6 千㎡ ($\triangle 3.2\%$) 減少した。この内訳をみると、丸太の輸入量が 62 万 8 千㎡ ($\triangle 10.5\%$)、木材製品の輸入量が 106 万 8 千㎡ ($\triangle 2.3\%$) 減少した。

(イ) しいたけ原木及び燃料材(※1)

平成 26 年におけるしいたけ原木の国内生産量は 31万 3 千㎡で、前年に比べて 7万 5 千㎡ (\triangle 19.3%) 減少した。一方、燃料材の国内生産量は 184万 3 千㎡であった。

(ウ)総数

平成 26 年における国内生産量は 2, 36 $\frac{4}{5}$ 万 $\frac{7}{1}$ 千㎡ で、輸入量は 5, 215 万 2 千㎡ となった。 燃料用チップを除く平成 26 年における国内生産量は 2, 20 $\frac{4}{5}$ 万 $\frac{7}{1}$ 千㎡ で、前年に比べて 3 $\frac{1}{5}$ 万 $\frac{2}{1}$ 千㎡ (1. $\frac{4}{9}$) 増加し、輸入量は 5, 205 万 6 千㎡ で、前年に比べて 166 万 8 千㎡ (\triangle 3. 1%) 減少した。 (※ 2)

- (※1) 平成26年から、木質バイオマス発電施設等において利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。
- (※2) 燃料用チップを新たに計上したため、前年からの増減の算出に当たっては、燃料用チップを除いた値を用いた。

(2) 木材供給

(ア) 用材

平成 26 年における用材の国内生産量は 2, 148 万 $\frac{9}{1}$ 千㎡ で、前年に比べて 37 万 $\frac{2}{2}$ 千㎡ (1.8%) 増加した。この内訳をみると、丸太は 2, 12 $\frac{5}{2}$ 万 $\frac{8}{2}$ 千㎡ で 44 万㎡ (2.1%) の増加、林地残材は 23 万 1 千㎡ で 6 万 8 千㎡ (\triangle 22.7%) の減少となった。

用材の輸入量は 5,105 万 4 千㎡ で、前年に比べて 169 万 6 千㎡ ($\triangle 3.2\%$) 減少した。この内訳をみると、丸太の輸入量が 62 万8 千㎡ ($\triangle 10.5\%$)、木材製品の輸入量が 106 万8 千㎡ ($\triangle 2.3\%$) 減少した。

(イ) しいたけ原木及び燃料材(※1)

平成 26 年におけるしいたけ原木の国内生産量は 3 $\frac{3}{2}$ 万 $^{\rm m}$ で、前年に比べて $\frac{5}{2}$ 万 $\frac{8}{2}$ 千 $^{\rm m}$ (\triangle 14. 9%)減少した。一方、燃料材の国内生産量は 184万 $^{\rm 3}$ 千 $^{\rm m}$ であった。

(ウ)絵数

平成 26 年における国内生産量は 2,366万 $\underline{2}$ 千㎡で、輸入量は 5,215万 $\underline{2}$ 千㎡となった。 燃料用チップを除く平成 26 年における国内生産量は 2,206万 $\underline{2}$ 千㎡で、前年に比べて 3 $\underline{2}$ 万 $\underline{1}$ 千㎡ (1. $\underline{5}$ %) 増加し、輸入量は 5,205万 6 千㎡で、前年に比べて 166万 8 千㎡ (Δ 3.1%) 減少した。 (※2)

- (※1) 平成 26 年から、木質バイオマス発電施設等において利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。
- (※2) 燃料用チップを新たに計上したため、前年からの増減の算出に当たっては、燃料用チップを除いた値を用いた。

区

正

誤

木 材 供 給 の 動 向

構成比

平成25年

構成比

数量

5,970

11,835

5,771

19,400

6,734

3,040

1,268

46,780

52,750

53,724

53, 724

974

11.1

22.0

10.7

36.1

12.5

5.7

2.4

87.1

98. 2

100.0

100.0

対前年

増減量

対前年

増減率

△ 10.5

△ 16.6

0.3

6. 2

△ 3.0

△ 3.9

△ 4.3

△ 2.3

△ 3.3

△ 3.1

△ 628

1, 194

△ 201

△ 119

△ 55

△ 1,068

△_1,696

△ 1,668

 \triangle 1,959

平成26年

			木 材	供給	の動	向		
			平成 2	6年	平成 2		対前年	対前年
		区 分	数量	構成比	数量	構成比	増減量	増減率
		丸太	(千m³)	(%)	(∓m³)	(%)	(千m³)	(%)
	用		<u>26, 604</u>	35. 1	26, 788	35. 5	△ 184	△ 0.7
総		輸入木材製品	231	0.3	299	0.4	△ 68	△ 22.7
供	材	小計	45, 712	60.3	46, 780	62.0	△ 1,068	△ 2.3
給		<u></u> いたけ原木	72, 547	95. 7	73, 867	97. 9	<u>△ 1,320</u>	△ 1.8
量			<u>313</u>	0.4	388	0.5	△ 75	△ 19.3
		燃料材(※)	2, 940	3. 9	1, 204	1.6		
	⇒1	<u>計</u> (燃料用チップ除く)	75, 799	100.0	75, 459	100.0	A 1 050	
	計	1	<u>74, 103</u>	100.0	<u>75, 459</u>	100.0	<u>△</u> 1,356	△ 1.8
	用	丸 太	21, 261	89. 9	20, 818	95.8	443	2.1
国	材	. 林地残材 小 計	231	1.0	299	1.4	△ 68	△ 22.7
内生	しいたけ原木		21, 492	<u>90. 9</u>	21, 117	97. 2	375	1.8
産	-	燃料材(※)	313	1.3	388	1.8	△ 75	△ 19.3
ĺ		計	1, 843	7.8	230	1.1		$\overline{}$
	計		23, 647	100.0	21, 735	100.0	210	
	рΙ	丸太	22, 047	100.0	21, 735	100.0	312	1.4
		製材品	5, 342	10. 2	5, 970	11. 1	△ 628	△ 10.5
	用	木材パルプ	9,876	18. 9	11, 835	22. 0	△ 1, 959	△ 16.6
		木材チップ	5, 788	11. 1	5, 771	10.7	1 104	0.3
輸		材一分 #5 举	20, 594 6, 533	39. 5 12. 5	19, 400 6, 734	36. 1 12. 5	$1, 194$ $\triangle 201$	6.2 $\triangle 3.0$
		製	2, 921	5. 6	3, 040	5. 7	\triangle 201 \triangle 119	\triangle 3.0 \triangle 3.9
		うち構造用集成材	1, 213	2. 3	1, 268	2. 4	△ 119 △ 55	\triangle 3.9 \triangle 4.3
<u>ا</u>	材	細計	45, 712	87. 7		87. 1		
'		小計	51, 054	97. 9	46, 780 52, 750	98. 2	\triangle 1, 068 \triangle 1, 696	\triangle 2.3 \triangle 3.2
		燃料材(※)	1, 098	2. 1	974	1.8	△ 1, 696	<u> </u>
	計		52, 152	100. 0	53, 724	100.0		
	。。 計	### (52, 152	100.0	53, 724	100.0	△ 1,668	Δ 3.1

- 注: 1) 林地残材は、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に 1) 体地球をは、エイと以下したなって心になっています。 搬入されたものである。 2) 燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

 - 3) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。
- (※) 平成26年から、木質バイオマス発電施設等において利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することと し、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。このため、平成25年については「薪炭材」の数 量を、平成26年については「燃料材」の数量を記載している。

		, ,,	(∓m³)	(%)	(千m³)	(%)	(∓m³)	(%)
	3	丸 太	26, 601	35.1	26, 788	35. 5	△ 187	△ 0.7
١	用	林 地 残 材	231	0.3	299	0.4	△ 68	△ 22.7
総	材	輸入木材製品	45, 712	60.3	46,780	62.0	△ 1,068	△ 2.3
供給	2	小 計	72, 543	95.7	73,867	97.9	△ 1,324	△ 1.8
量		しいたけ原木	<u>330</u>	0.4	388	0.5	△ 58	△ 14.9
		燃料材(※)	2, 940	3.9	1,211	1.6		
		計	75, 814	100.0	75,465	100.0		
	計	(燃料用チップ除く)	74, 118	100.0	75, 465	100.0	△ 1,347	△ 1.8
	В	丸 太	21, 258	89.8	20,818	95.8	440	2. 1
国	用材	林 地 残 材	231	1.0	299	1.4	△ 68	△ 22.7
国内	'PJ	小 計	<u>21, 489</u>	90.8	21, 117	97. 1	372	1.8
生		しいたけ原木	<u>330</u>	<u>1.4</u>	388	1.8	△ 58	△ 14.9
産	Ē	燃料材(※)	1,843	7.8	237	1.1		
		計	23,662	100.0	21,741	100.0		
	計	(燃料用チップ除く)	22,062	100.0	21,741	100.0	321	1.5

10.2

18.9

11.1

39.5

12.5

5.6

2.3

87.7

97.9

2.1

100.0 注:1) 林地残材は、立木を伐採した後の林地に残されている根株、枝条等のうち、利用を目的に木材チップ工場に

100.0

搬入されたものである。 2)燃料材とは、木炭、薪、燃料用チップ及びペレットである。

太

製材品

木材パルブ

木材チップ

合 板 等

うち構造用集成を

の他

計

計

5, 342

9,876

5, 788

20, 594

6, 533

2,921

1, 213

45, 712

51,054

1,098

52, 152

52.056

丸

細

燃料材(※)

計

計 (燃料用チップ除く)

小

材

- 3) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。
- (※) 平成26年から、木質バイオマス発電施設等において利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することと し、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。このため、平成25年については「薪炭材」の数 量を、平成26年については「燃料材」の数量を記載している。

正

誤

(3) 木材自給率

平成 26 年のしいたけ原木や燃料材を含めた総数の木材自給率は 31.2%となった。また、今回追加した燃料用チップを除いて比較すると、平成 26 年の総数の木材自給率は 29.8%となり、前年に比べると 1.0 ポイント上昇した。(※)

なお、木材 (用材) 自給率は29.6%と前年に比べて1.0ポイント上昇した。

(※) 平成26年から、燃料用チップを新たに計上したため、前年からの増減の算出に当たっては、 燃料用チップを除いた値を用いた。

_							_
*	材	$\dot{\Box}$	- ∠2	32E	σ	1984h	南

		木 材	自給率	の動	向	
			平成26年	平成25年	対前年	対前年
	区	分	数 量	数量	増減量	増減率
			(+m³)	(∱m³)	(手m³)	(%)
		国内生産	12, 211	12,058	153	1. 3
	製材	輸入	13, 928	16, 534	△ 2,606	△ 15.8
	用材	総需要量	26, 139	28, 592	△ 2,453	△ 8.6
		自給率	46.7%	42.2%	4. 5ポイント	
	n° 1/7°	国内生産	5, 047	5, 177	△ 130	△ 2.5
	・ チッフ [°]	輸入	26, 386	25, 176	1,210	4. 8
	用材	総需要量	31, 433	30, 353	1,080	3.6
		自給率	16.1%	17.1%	△ 1.0ポイント	
		国内生産	3, 346	3, 255	91	2. 8
用材	合 板	輸入	7, 798	7, 977	△ 179	△ 2.2
713 723	用材	総需要量	11, 144	11, 232	△ 88	△ 0.8
		自給率	30.0%	29.0%	1. 0ポイント	
		国内生産	<u>889</u>	627	262	41.8
	その他	輸入	2, 942	3,063	△ 121	△ 4.0
	用材	総需要量	3, 830	3,690	140	3.8
		自 給 率	23.2%	17.0%	6. 2ポイント	
		国内生産	21, 492	21, 117	375	1.8
	<u>#</u>	輸入	51,054	52, 750	△ 1,696	△ 3.2
	"'	総需要量	72, 547	73,867	△ 1,320	△ 1.8
		自 給 率	29.6%	28.6%	1. 0ポイント	
	玉		313	388	<u>△ 75</u>	△ 19.3
しいたけ	輎		_	_	_	_
原木	総		313	388	<u>△ 75</u>	<u>△ 19.3</u>
	自		100.0%	100.0%	0. 0ポイント	
	玉		1,843	230		
燃料材	輎		1,098	974		
(※)	総		2, 940	1, 204		
	自		62.7%	19. 1%		
	玉		23, 647			
総数	輎		52, 152			
1942 35A	総		75, 799			
	自		31.2%			
総 数	玉		22,047	21,735	312	1. 4
(燃料用	輎		52, 056	53, 724	△ 1,668	△ 3.1
チップ除	総		74, 103	75, 459	△ 1,356	△ 1.8
<)	自	給 率	29.8%	28.8%	1.0ポイント	

- 注:1) 合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL(単板積層材)を含む。
 - 2) その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
 - 3) 木材自給率の算出は次式による。
 - 自給率=国内生産量÷総需要量×100
 - 4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。
- (※) 平成26年から、木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。このため、平成25年については「薪炭材」の数量を、東収金年については「燃料材」の数量を、取せている。

(3) 木材自給率

平成 26 年のしいたけ原木や燃料材を含めた総数の木材自給率は31.2%となった。また、今回追加した燃料用チップを除いて比較すると、平成26 年の総数の木材自給率は29.8%となり、前年に比べると1.0 ポイント上昇した。(※)

なお、木材(用材)自給率は29.6%と前年に比べて1.0ポイント上昇した。

(※) 平成26年から、燃料用チップを新たに計上したため、前年からの増減の算出に当たっては、 燃料用チップを除いた値を用いた。

木材自給率の動向

			平成26年	平成25年	対前年	対前年
	区	分	数 量	数量	増減量	増減率
			(千m³)	(手m³)	(千m³)	(%)
		国内生産	12, 211	12, 058	153	1.
	製材	輸入	13, 928	16, 534	△ 2,606	△ 15.
	用材	総需要量	26, 139	28, 592	△ 2, 453	△ 8.
		自 給 率	46.7%	42.2%	4. 5ポイント	
	n° 107°	国内生産	5, 044	5, 177	△ 133	△ 2.
	ハ <i>ルノ</i> ・チップ。	輸 入	26, 386	25, 176	1,210	4, 8
	用材。	総需要量	31, 430	30, 353	1,077	3.
		自 給 率	16.0%	17.1%	△ 1.1ポイント	
		国内生産	3, 346	3, 255	91	2.8
用材	合 板	輸入	7, 798	7, 977	△ 179	△ 2.2
/DJ 1/23	用材	総需要量	11, 144	11, 232	△ 88	△ 0.8
		自 給 率	30.0%	29.0%	1. 0ポイント	
		国内生産	888	627	261	41. (
	その他	輸入	2, 942	3, 063	△ 121	△ 4.0
	用材	総需要量	3,830	3, 690	140	3.
		自 給 率	23.2%	17.0%	6. 2ポイント	
		国内生産	21, 489	21, 117	372	1.8
	計	輸入	51,054	52, 750	△ 1,696	△ 3. 2
	"'	総需要量	72, 543	73, 867	△ 1,324	△ 1.8
		自 給 率	29.6%	最		
	王		330	388	△ 58	△ 14.9
しいたけ	輪		_	_	_	-
原木	総		<u>330</u>			△ 14. 9
	自		100.0%	100.0%	0.0ポイント	
	玉		1,843	237		
燃料材	輪		1,098	974		
(※)	総			1, 211		
	自		62.7%	<u>19.6%</u>		
	玉		23,662			
総数	輪		52, 152			
和D 双	総					
	自					
総 数	玉		22, 062	21, 741	321	1.
(燃料用	輸		52, 056	53, 724	△ 1,668	△ 3.
チップ除	総		74, 118	75, 465	△ 1,347	△ 1.
<)	自	給 率	29.8%	28.8%	1. 0ポイント	

- 注:1) 合板用材には、薄板、単板、ブロックボードに加工された木材及びLVL (単板積層材) を含む。
- 2) その他用材には、加工材、再生木材、構造用集成材等を含む。
- 3) 木材自給率の算出は次式による。
 - 自給率=国内生産量÷総需要量×100
- 4) 数値の合計値は、四捨五入のため計に一致しない場合がある。
- (※) 平成26年から、木質バイオマス発電施設等においてエネルギー利用された燃料用チップを「薪炭材」に新たに計上することとし、これを踏まえ、項目名を「薪炭材」から「燃料材」に変更した。このため、平成25年については「薪炭材」の数量を主職している。

平成26年 木材需給表 正誤表

<u>単位:千m</u>3 表題 表頭 表側 平成26年 木材需給表 総需要量 総供給量 Π 計 (16,687)(16,678)総需要量 計 総供給量 計 75,799 75,814 総需要量 総供給量 用材 小計 計 (6.922)(6.913)総供給量 総需要量 用材 小計 計 72.547 72.543 (6,922)総需要量 用材 パルプ・チップ用材 総供給量 計 (6.913)用材 パルプ・チップ用材 総需要量 総供給量 計 31,433 31,430 しいたけ原木 総供給量 |総需要量 計 313 330 総供給量 国内消費 (16<u>,6</u>78) 計 計 (16,687)73,770 国内消費 総供給量 計 計 73,785 国内消費 用材 小計 総供給量 (6.922)(6,913)計 総供給量 国内消費 用材 小計 70.536 70.533 総供給量 国内消費 用材 パルプ・チップ用材 計 (6,922)(6,913)用材 パルプ・チップ用材 総供給量 国内消費 30,123 30,120 しいたけ原木 総供給量 国内消費 313 330 総需要量 計 総供給量 丸太 (6,922)(6,913)総供給量 丸太 26,604 26,601 総需要量 用材 小計 総供給量 丸太 (6.922)(6.913)総需要量 用材 小計 総供給量 丸太 26,604 26,601 総供給量 総需要量 用材 パルプ・チップ用材 丸太 (6,922)(6,913)パルプ・チップ用材 総供給量 |総需要量 用材 丸太 4,821 4,818 総供給量 国内消費 計 (6,922)(6,913)<u>丸太</u> 総供給量 国内消費 24,594 24,590 丸太 計 総供給量 国内消費 用材 小計 丸太 (6.922)(6.913)国内消費 用材 小計 総供給量 丸太 24.594 24.590 国内消費 用材 パルプ・チップ用材 総供給量 丸太 (6,922)(6,913)パルプ・チップ用材 総供給量 国内消費 用材 丸太 3.511 3.508 総供給量 総需要量 しいたけ原木 計 313 330 総供給量 総需要量 しいたけ原木 しいたけ原木 313 330 しいたけ原木 国内消費 総供給量 313 330 しいたけ原木 国内消費 しいたけ原木 総供給量 313 330 国内生産 総需要量 計 計 23.647 23.662 総需要量 用材 小計 国内生産 計 21.492 21,489 国内生産 総需要量 用材 パルプ・チップ用材 計 5,047 5,044 総需要量 用材 その他用材 国内生産 計 889 888 総需要量 しいたけ原木 国内生産 313 330 計 国内消費 国内生産 21.622 21,637 計 国内消費 用材 小計 国内生産 19.486 19.483 計 用材 パルプ・チップ用材 国内生産 国内消費 計 3.737 3.734 用材 その他用材 国内生産 国内消費 計 352 351 しいたけ原木 国内生産 国内消費 計 313 330 国内生産 総需要量 計 丸太 21,261 21,258 総需要量 用材 国内生産 丸太 21,261 21,258 小計 国内生産 用材 パルプ・チップ用材 丸太 4.816 4,813 総需要量 用材 その他用材 国内生産 丸太 889 888 国内消費 計 国内生産 丸太 19,255 19,252 国内生産 国内消費 用材 小計 丸太 19,255 19,252 用材 パルプ・チップ用材 国内生産 3,506 3,503 国内消費 丸太 国内生産 国内消費 用材 その他用材 352 351 丸太 総需要量 計 国内生産 しいたけ原木 313 330 総需要量 しいたけ原木 国内生産 しいたけ原木 330 313 国内消費 国内生産 しいたけ原木 313 330 計 国内消費 しいたけ原木 国内生産 しいたけ原木 313 330 参考1 木材需給の推移 75,459 25 75,465 需要 国内消費 小計 25 73,544 73,551 需要 国内消費 燃料材(薪炭材) 25 1,191 1,197 供給 25 75.459 75,465 供給 国内生産 小計 25 21,735 21,741 供給 国内生産 燃料材(薪炭材) 25 230 237 需要 需要 26 75,799 75,814 72,547 72,543 計 うち用材 26 73,770 需要 国内消費 小計 26 73,785 70,536 需要 国内消費 用材 26 70,533 国内消費 しいたけ原木 26 313 330

_	_				
		供給 計	26	75,799	75,814
		供給 計 うち用材	26	72,547	72,543
		供給 国内生産 小計	26	23,647	23,662
		供給 国内生産 用材	26	21,492	21,489
		供給 国内生産 しいたけ原木	26	313	330
参考2	木材の需要量(用途	総需要量 計	25	75,459	75,465
	別)の推移	総需要量 燃料材(薪炭材)	25	1,204	1,211
		国内消費 計	25	73,544	73,551
		国内消費 燃料材(薪炭材) 小計	25	1,191	1,197
		国内消費 燃料材(薪炭材) 薪用材	25	254	261
		総需要量 計	26	75,799	75,814
		総需要量 用材 小計	26	72,547	72,543
		総需要量 用材 パルプ・チップ用材	26	31,433	31,430
		総需要量 用材 パルプ・チップ用材	26	(6,922)	(6,913)
		総需要量 しいたけ原木原木	26	313	330
		国内消費 計	26	73,770	73,785
		国内消費 用材 小計	26	70,536	70,533
		国内消費 用材 パルプ・チップ用材	26	30,123	30,120
		国内消費 用材 パルプ・チップ用材	26	(6,922)	(6,913)
		国内消費 しいたけ原木	26	313	330
参考3	木材の供給量(形態	総供給量 計	25	75,459	75,465
	別)の推移	総供給量 燃料材(薪炭材)	25	1,204	1,211
		国内生産 計	25	21,735	21,741
		国内生産 燃料材(薪炭材)	25	230	237
		総供給量 計	26	75,799	75,814
		総供給量 用材 小計	26	72,547	72,543
		総供給量 用材 丸太	26	26,604	26,601
		総供給量 しいたけ原木	26	313	330
		国内生産 計	26	23,647	23,662
		国内生産 用材 小計	26	21,492	21,489
		国内生産 用材 丸太	26	21,261	21,258
		国内生産 しいたけ原木	26	313	330